1型糖尿病ってなに？ 一生治らない･･･
～あなたの知らないもうひとつの糖尿病～

- 毎日数回のインスリン注射又はポンプによる注入を生涯にわたって必要とする病気です。
- 一見、病気のようには見えませんが、インスリン注射またはポンプによる注入をしないと数日で死に至る病気です。



ゆうこちゃんは、毎日5回、生涯15万回の注射を打ちます。
写真のゆうこちゃん（5歳）は、既に9,000回の注射を打っています。
この子の手には“注射”ではなく“希望”を握らせたい。

この病気を治す“1型糖尿病研究基金”にご協力ください。



自動販売機が「募金箱」に!

難病・慢性疾患患者支援自動販売機

商品も値段も通常の自動販売機と同じ!
違うのは、売り上げの一部（最大20%）が、1型糖尿病を”治る”病気にするために提供されることです。

“治らない”から“治る”へ 研究を進めるために

自動販売機設置にご協力ください!

日本IDDMネットワークでは、設置にご協力いただける場所を探しています。例えばこんなところ･･･
自分の住む街の公的施設（市庁舎、市民公園など）、レジャー施設、スポーツ施設、工場など、ご連絡をお待ちしています!!

1万円集まれば･･･････
1型糖尿病を治す基礎実験が5回できます。

100万円集まれば････
新しい治療法の開発が可能になります。

2023年10月現在
まだ66台です
【設置目標100台】
この企画は、飲料自販機メーカー各社のご協力により取り組んでいます。

1型糖尿病根治を目指す研究者を10人応援したい!

IDDM
「治らない」から「治る」へ
認定特定非営利活動法人
日本IDDMネットワーク
私たちは全国の1型糖尿病を中心としたインスリン補充が必須な患者や家族を支援するNPO法人です。

日本IDDMネットワークは、この自販機から得られる寄付金を1型糖尿病の治療につながるあらゆる先進的な研究に取り組んでいる方々に対する研究費助成に活用します。

難病・慢性疾患患者支援自動販売機の設置まで

難病・慢性疾患患者支援自動販売機の仕組み



難病・慢性疾患患者支援自動販売機の設置場所として考えられる場所

行政施設の場合

・庁舎ロビー出入り口付近
・来庁者用喫煙所付近
・県有、市有、町有の中規模以上の公園
・職員用休憩室・喫煙所
・庁舎内または周辺で人の流れが常態的な場所

民間

・職場（男性割合7割以上、総数20人以上）
※例えば、工場、配送センター、作業場等
※中規模以上の工場ではトラック配送者喫煙所、休憩所が必ずある。
・レジャー施設、娯楽施設、ショッピングモール、スポーツ施設

その他

・大通りと交差する裏通りに自販機が複数台ある場合、大通りに最も近い機器の売り上げが大きくなる。
・自販機が複数台設置されている場合、まず人の視線は左側の機器から始まる。
・たばこ自動販売機に隣接して設置された自販機は売り上げが高い。
（※タスポによるマイナス影響を受ける場合もある）

設置の段取り

❶ ご協力ご賛同いただける法人、団体、個人さま（以下「協力者」）が設置候補場所を日本IDDMネットワーク事務局（以下「日Iネット」）へ連絡する。

●連絡先
〔事務局〕〒840-0854　佐賀県佐賀市八戸二丁目１番27-2号
TEL：0952-20-2062　E-mail　info@japan-iddm.net

場所の条件

・約1㎡（自動販売機の大きさは設置場所のスペース・利用見込みに応じて対応）
・1日に約20名以上の利用が望める場所
・電源として15アンペア（100Ｖ）のコンセント1ヵ所が必要
※自動販売機設置に要する費用はすべてコカ・コーラグループ各社等飲料自販機メーカー（以下「設置運営事業者」）で負担されます。

❷ 日Ｉネットから設置運営業者へ設置候補場所を連絡します。協力者と設置運営事業者とが協議の上設置の可・不可を判断します。設置可となれば支援金（売上額の20%まで）の比率を協力者及び設置運営事業者で決定します。

❸ 設置後の管理
（1）機器の保守、商品補充、代金・空容器回収、周辺清掃のため、設置運営事業者が設置場所を訪問されます。
（2）自動販売機の設置管理費（使用電気料）は、協力者にご負担いただくことになります。
※このことをふまえて支援金の比率をご検討ください。

IDDM
「治らない」から「治る」へ
認定特定非営利活動法人
日本IDDMネットワーク
〒840-0854　佐賀県佐賀市八戸二丁目１番27-2号
TEL　0952-20-2062
E-MAIL info@japan-iddm.net　URL http://japan-iddm.net/　日本IDDMネットワーク

設置のお問合せは事務局まで
Tel.0952-20-2062